第 28 回　日本体外循環技術医学会北海道地方会大会報告

9 月 10 日に札幌孝仁会記念病院臨床工学部の髙橋茉莉子大会長主催による第 28 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会（テーマ :『在り方』）が開催されました。昨年同様に北海道地方会大会は現地開催＋Web ライブ配信のハイブリッド開催形式とし、髙橋大会長をはじめとした札幌孝仁会スタッフ・幹事会（写真１）の皆様に数ヶ月に渡る準備を進めて頂き開催することができました。当日の参加人数は現地参加 80 名、Web 参加 29 名の計 109 名となり、100 名を超える盛況の中、開催することができました。（写真２）

・写真１

・写真２

一般演題は若手パーフュージョニスト（学生も含む）からの発表セッションと中堅以上からの発表セッションに分けた形式として進行しました。どちらのセッションも活発な討論が見られ、北海道の各施設での研究や取り組みを知ることができました。昨年に続き若手からの発表や発言もあり、今後の北海道の体外循環の盛り上がりに期待できるセッションだったと思います。（写真３・４・５）

・写真３

・写真４

・写真５

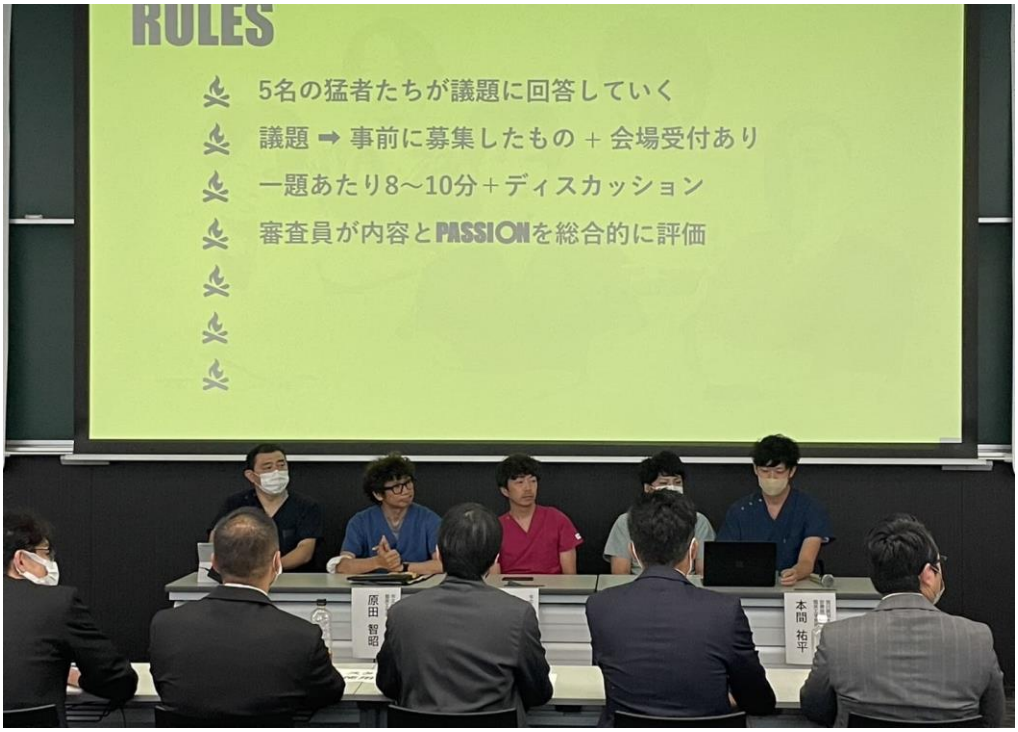
特別講演・壱では髙橋大会長の肝入り企画でもある「これが、私のワーク・ライフ・バランス。」と題した「男女共同参画」「働き方」を体外循環領域において再考するセッションを開催し、仙台オープン記念病院　臨床工学室の千葉美樹先生と済生会熊本病院　臨床工学部門の笠野靖代先生をお迎えし講演して頂きました。女性パーフュージョニストとして第一線でご活躍されているお二人ならではの豊富な経験と知見から、女性に限らず今後のパーフュージョニストの「ワーク」と「ライフ」の充実に向けた「在り方」を考えるに相応しい御講演だったと思います。（写真６）

・写真６

特別講演・弐では株式会社識学の吉原将之先生（写真 7）より「成長が見える組織マネジメント」のテーマで組織をマネジメントするためにリーダーが基準（ルール）を決める大切さ、基準（ルール）を守らせる大切さについて講演して頂きました。部署内でタスクを共有し進める上での非常に参考となる御講演となりました。

・写真 7

また、今回の目玉企画でもあるシンポジウムでは「PASSION GRAND PRIX」と題しまして従来の学会企画の「在り方」を覆すような楽しい企画となりました。（写真 8）北海道内のユーモア溢れる演者から体外循環に対する PASSION を披露して頂き、審査員から採点を受ける TV 番組さながらのセンションとなり非常に盛り上がったと思います。



・写真 8

昨年より地方会およびセミナーをハイブリッド開催で行ってきたおかげで、運営メンバーにもハイブリッド開催のノウハウが板についてきました。手作りの運営ですが、途中トラブルも自分たちで解決ができる程の技術もついてきて非常に心強いです。運営事務局のメンバーの皆様、いつも本当にありがとうございます。また、大会を従来とは違った形の開催形式としてチャレンジングに取組んで頂いた髙橋大会長をはじめとした札幌孝仁会記念病院のスタッフのみなさま、大成功だったと思いますよ。
また、大会を盛り上げて頂いた参加者の皆様には心より感謝申し上げます。
来年は全国大会を市立旭川病院の窪田大会長のもと、旭川で開催致します。北海道地方会一丸となって our team で大成功に導きましょう！

JaSECT 広報委員　市立釧路総合病院　原田智昭

第 28 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会開催協力企業様

・エア・ウォーター・ライフサポート株式会社　札幌医療営業所　様
・エドワーズライフサイエンス株式会社　様
・株式会社アムコ　様
・株式会社エイエックス　様
・株式会社 SMC　様
・株式会社ジェイ・エム・エス　様
・株式会社竹山　北支店　様
・株式会社ムトウ　様
・ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社　様
・コヴィディエンジャパン株式会社　様
・ゼオンメディカル株式会社　様
・泉工医科工業株式会社　様
・テクノウッド株式会社　様
・テルモ株式会社　様
・ニプロ株式会社　様
・日本メドトロニック株式会社　様
・ファイブシーズメディカル株式会社　様
・フクダ電子北海道販売株式会社　様
・平和物産株式会社　様
・マリンクロットファーマ株式会社　様
・有限会社メディカルアイランド　様
・リヴァノヴァ株式会社　様
（五十音順）

ご協力、誠にありがとうございました。

第 28 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会大会長　髙橋　茉莉子
日本体外循環技術医学会北海道地方会幹事一同